

# 第2次山形県循環型社会形成推進計画中間見直しの概要

## ～ 全国一ごみの少ない県を目指して / リサイクル等の循環型産業を振興 ～

### I 中間見直しの趣旨

計画（期間：平成23～32年度の10年間）の中間年である27年度において、国の法制度、社会経済等の変化や計画目標の達成状況等を踏まえ、数値目標の見直しや強化すべき施策等について検討を行うもの。  
 ※計画の位置付け：本県の循環型社会の実現にむけて、中長期的に目指すべき基本方向を示すもの。第3次山形県環境計画の分野別計画であるとともに、廃棄物処理法に基づく都道府県廃棄物処理計画でもある。

### II 基本的数値目標の達成状況（平成26年度実績値）

#### 1 一般廃棄物

- 排出量は減少しているが、事業系一般廃棄物が近年増加しているため、平成27年度の目標値は未達成。リサイクル率も、平成27年度の目標値を未達成。最終処分量は、目標達成に向け順調に推移。

#### 2 産業廃棄物

- 排出量は、目標値以下に抑制されている。リサイクル率は、平成27年度目標の達成に向け順調に推移しており、最終処分量は、平成27年度目標を達成。

【計画の基本的数値目標と達成状況】

区分	項目	H21年度実績値	H26年度実績値	H27年度目標値（中間）	H32年度目標値
一般廃棄物	排出量	416千トン	<b>408千トン</b>	381千トン	355千トン
	（1人1日当たり排出量）	909g	<b>925g</b>	860g	820g
	リサイクル率	19.6%	<b>19.0%</b>	23%	25%
	最終処分量	48千トン	<b>45千トン</b>	44千トン	39千トン
産業廃棄物	排出量	3,557千トン	<b>3,558千トン</b>	3,593千トン	3,622千トン
	リサイクル率	58.4%	<b>59.0%</b>	59.4%	60%
	最終処分量	113千トン	<b>96千トン</b>	100千トン	90千トン

### IV 基本的数値目標の見直し

#### 1 見直しの考え方

現計画策定後に示された国の目標値（考え方）や現計画目標値、実績値を比較し、最も厳しい数値を目標値に設定。

#### 2 平成32年度の基本的数値目標

区分	項目	H26年度実績値	H32年度目標値 （現計画の目標値）	目標値設定の項目別の考え方
一般廃棄物	排出量	408千t	<b>355千t</b> （355千t）	現計画目標を継続
	（事業系）	111千t	<b>89千t</b> （91千t）	<b>国の目標の考え方（H12比 35%減）で設定</b>
	（1人1日当たりの家庭系ごみ排出量）	526g	<b>430g</b> （430g）	現計画目標を継続
	リサイクル率	19.0%	<b>27%</b> （25%）	<b>国の目標値で設定</b>
	最終処分量	45千t	<b>38千t</b> （39千t）	<b>国の目標の考え方（H24比 14%減）で設定</b>
産業廃棄物	排出量	3,558千t	<b>3,558千t</b> （3,622千t）	<b>H26実績値に抑制</b>
	リサイクル率	59.0%	<b>60%</b> （60%）	現計画目標を継続
	最終処分量	96千t	<b>90千t</b> （90千t）	現計画目標を継続

### III 施策に係る現状と課題（○現状、●課題）

#### 1 資源循環型社会システムの形成（廃棄物の排出抑制）

- これまでの取り組みにより、日常生活において「ごみの減量化」などに取り組んでいる県民の割合は93.5%と高率（平成27年度県政アンケート調査）
- 増加している事業系一般廃棄物の排出削減等に関する施策の強化が必要。
- 一般廃棄物のリサイクル率が伸び悩んでいるため、雑紙の分別回収や小型家電のリサイクルの推進が必要。

#### 2 資源の循環を担う産業の振興（循環型産業の支援）

- リサイクル製品販売額の増加や新たにリサイクル等に取り組む事業者が拡大。
- 企業のニーズや大学・研究機関のシーズ等を的確に把握し、商品化や事業化、販路開拓・拡大までを視野に入れた一体的な支援策が必要。

#### 3 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減（廃棄物の適正処理の推進）

- 不法投棄防止パトロールや不法投棄された箇所の原状回復等により、不法投棄箇所は減少。
- 人口減少・高齢化により見込まれる、ごみ出し困難者や介護用品等の増加等に対応した収集・処理体制等の構築が必要。
- 廃棄物処理法の改正（平成27年8月施行）に伴い、非常災害時に備えた廃棄物処理体制の構築が必要。

### V 目標達成に向けた、主な強化施策（☆新規、★拡充）

#### 《廃棄物の排出抑制》

- ☆ 工業団地の事業系一般廃棄物を対象に、紙ごみ等を共同回収しリサイクルするモデルシステムを構築
- ★ 雑紙等の分別回収に取り組む市町村の拡大 <H26：27市町村 ⇒ H32：全市町村>
- ★ 小型家電リサイクルの回収に取り組む市町村の拡大 <H26：20市町村 ⇒ H32：全市町村>

#### 《循環型産業の支援》

- ★ 3R推進環境コーディネーターを活用し、県内外企業、大学、公的試験研究機関が行う研究や技術に関する情報を把握・分析し、効果的な情報提供を行う体制の構築
- ★ 関係機関との連携を強化し、排出削減等の研究から技術開発、施設整備、製品の販路開拓・拡大までの一体的な支援を実施

#### 《廃棄物の適正処理の推進》

- ★ 人口減少・高齢化社会に対応したごみ（一般廃棄物）処理等に関する情報交換の場を設け、効率的な回収体制の整備や変化するごみの質に対応した分別方法の導入等に取り組もうとする市町村を支援
- ☆ 非常災害時の円滑な廃棄物処理のため、山形県災害廃棄物処理計画を新たに策定

※ その他の施策については、それぞれの現状と課題を踏まえ必要な見直し。